



# 福田敬子

## —女子柔道のパイオニア

■『福田敬子—女子柔道のパイオニア』は、女性で唯一、柔道の最高段位である10段を取得した福田敬子の生涯を、本人への豊富な取材も含め、記録したドキュメンタリー映画である。

■講道館創始者“柔道の父”嘉納治五郎の薦めで、21歳の時に講道館女子部に入門。1964年の東京オリンピックで柔道の型を披露し、1966年、52歳で、柔道の国際的普及のために渡米。永住権を取得し、以降80歳を過ぎるまで世界各地



を飛び回り、柔道の普及に努めてきた。1990年には長年の功績が認められ勲四等瑞宝章を受賞。2013年、福田はサンフランシスコで逝去した。99歳だった。

■その生涯は、柔道家のみならず、女性として、まさにパイオニアといえるだろう。「柔の道」を歩んできた福田のモットーは〈強く 優しく 美しく〉。東京オリンピックを控えた今こそ、柔道家として、グローバルな活躍をした日本人のひとりとして、その伝説を語り継ぐ時であろう。

福田敬子著 / 小学館刊



つよく  
やさしく  
うつくしく

監督 □ ユリコ・ガモウ・ロマー

# 2016年公開予定!

アメリカ | 2013年 | 66分  
記 録 : バンドラ  
写 真 提 供 : 小 学 館 / 福 田 敬 子